共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

連合会総会報告

■発行：グリーンコープ
生活協同組合連合会理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング3階
TEL092（481）7923
FAX092（481）7876
http://www.greencoop.or.jp/

裏面に委員会報告を
掲載しています。

2019.6.12
グリーンコープ生活協同組合連合会
第二十七期通常総会

グリーンコープ商品の確かさを確認し、商品事故をなくすとともに利用を拡大していきます

2019年6月12日、グリーンコープ生活協同組合連合会の第二十七期通常総会が開催され、すべての議題について賛成多数で確認されました。

2018年度の活動報告と2019年度の活動方針など（要旨）を報告します。

第一号議案

2018年度活動報告承認の件

経営の改善を行いました

取引先と商品の値下げ交渉を行い、経営改善原資の確保目標を達成しました。得られた利益で組合員拡大に必要なメディア展開などをすすめていきます。

商品事故が起きないよう業務管理を徹底させます

いくつかの商品事故を発生させました。薬機法にかかる問題が2件立て続けに起こりましたが、どちらも取引先が虚偽報告をしていました。また、国産ごま、国産なたね油についての取引先の偽装が発覚するなど、事前に発見することが難しい案件が続きました。希薄になっていた取引先との関係をしっかりと構築し直し、組合員のみなさんにきちんとしたものを届けなければいけないことを伝えることで、商品事故を未然に防いでいきます。


グリーンコープ連合会
専務理事 **西村 大輔**さん

グリーンコープ商品の確かさを確認する活動を開始しました

「してはならない」事項を明確にし、確認するための「特別注視確認書」を作成しました。これによって、商品を製造する人がグリーンコープ商品の特徴を理解し、商品事故を未然に防ぐことができます。

産直青果の品質改善のために温度管理を徹底します

近年の夏の暑さに対応するため、産直青果の流通温度の設定を20℃から10～15℃に引き下げるための検討をすすめました。各物流センターでは外気流入を防ぐ工事を完了するなど、温度管理を強化しています。配送トラック内や配送センターでの保管温度についても、管理を徹底していきます。

物流センターの処理能力をアップさせました

物流センターでは仕分業務に新ラインを導入したことで、仕分にかかる人員を削除でき、労働環境、処理能力を向上させると同時に、仕分ミスを減らすことができました。今後もミスゼロをめざしていきます。

無農薬・減農薬栽培品をさらに追及します

生産者とともに化学合成農薬を減らす取り組みをすすめています。

環境ホルモンの疑いがあるネオニコチノイド系農薬の排除については、グリーンコープ青果生産者の会でも検討議題とされ、学習会や調査・研究がすすめられており、共同して取り組みます。

また、作物栽培計画書の点検、残留放射能検査や残留農薬検査などをしっかりと行い、安心・安全の確かさを追求します。

スマートフォンでのサービス向上をめざします

コミュニケーションアプリのLINEを使った注文システムを開発し、いつでもどこでも注文できるスマートフォンでの注文ツールを拡充します。

また、これまでスマートフォンで展開してきたGCwebや商品情報紹介、GC照会アプリやレシピBOXなどを、使いやすいように一つのアプリにしたGC公式アプリ（仮称）の開発に取り組みます。

この取り組みの最大の目的は利用拡大です。組合員は一般の商品との違いがより明確に分かるようになり、今まで以上に自信を持っておすすめできる言葉を獲得することにつながります。

また、グリーンコープ商品を製造するに当たり、一、グリーンコープの主人公である組合員がグリーンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を高めます。

二、生命（いのち）を守り育むグリーンコープの食べものを食べて、私たちの安心・安全な食べものを守り、より良く育てていきます。

三、グリーンコープ商品を見直し、改善と開発をすすめていきます。

四、組合員の伸びに呼応する生産や製造の実態を再構築し、組合員、メーカー・生産者、ワーカーズ（労働協同組合）、職員とともに利用の拡大をすすめていきます。

五、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」を重要なグリーンコープの組合員活動とし、メーカー・生産者との交流によって、商品管理の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。

六、グリーンコープらしいこだわりある特別企画商品（雑貨）を増やしていきます。

七、グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化します。

八、四つの共生の願いに基づく取り組みをすすめます。

九、各委員会方針
㈠商品検討委員会
㈡商品おすすめ委員会

第三号議案

2019年度活動方針決定の件


グリーンコープ生協おおいた
理事長 **宇都宮 陽子**さん

2019年度組合員活動方針として、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」について、グリーンコープ生協おおいたの宇都宮理事長が提案しました。

ひとりの母親として、食卓を預かる女性として、子どもたちに、家族に安心・安全なものを食べさせたい。それは、消費者であり組合員である私たちの切なる願いです。グリーンコープでは、私たちの願いを受けてメーカー・生産者が商品を作ってくださっているわけですが、一般的なお店と違うところは、直接メーカーや生産者の方々に会うことができるということです。これからは委員会活動で行われている視察という枠を越えて、さらに私たちが生産の現場に入らせていただき、一つひとつの商品について、どのように作られているのか、その確かさをしっかりと確認していきます。

その中で一番大切なことと考えているのは、生産の現場にいる方々と私たちがつながっていくということです。実際に商品が作られている場に私たちが伺って、なぜ私たちが安心・安全なものが欲しいのかということを、率直に意見交換する中でしっかりと感じていただきたいと思っています。組合員の質問を聞き、現場の方々が「組合員さんはこんなものが、こんな思いで欲しいんだ」ということを、生身の人としてつながる中で感じていただけるのではないかと思っています。そうすることで商品事故が一つでも二つでも減っていくことを、私たちは願っています。

もう一つ大切な目標は、この取り組みを通して私たちがしっかりと利用普及をしていくということです。昨年度から先行して活動に取り組んでいる各生協では、実際に現場を見て、私たちの商品の素晴らしさを再確認し、どうやって組合員に伝えていくかを話して、利用普及の活動につなげている様子があります。おおいたでも5月からスタートしました。何よりも、参加する組合員はこの取り組みをとても楽しみにしています。訪問を通して私たちの大好きな商品の秘密や確かさを知ることによって、私たちはさらに多くの組合員に向かってグリーンコープ商品の良さを伝えることができると思います。

2019年度も様々な活動を予定しています。商品の確かさを確認する活動を通して、私たちがよりグリーンコープを伝えていく一年にしていきたいと思います。

2019.6.12
グリーンコープ生活協同組合連合会
第二十七期通常総会 委員会報告

商品検討委員会

一つひとつ真摯に検討を重ね、自信を持っておすすめできるたくさんの商品を登場させました

2018年度は、グリーンコープ30周年を記念した商品開発に取り組みました。

「ぬ」グリーンコープ30周年記念ワイン」は、生食用のぶどう（甲斐路）で作りました。酸化防止剤は使用していません。カタログGREEN49号で登場し、限定数の約4倍もの注文があり大人気でした。生産者とメーカーをお招きし、ぶどう栽培の話や、ワインの製法について学びました。

「ぬ」和風万能うまかたれ」は、幅広く使えるこだわりの調味料として、委員会でしっかり検討しました。non-GMOの異性化糖を使用するなど、原料にこだわり、「遺伝子組み換え作物は食べたくない」という組合員の想いが形になった商品となりました。初回注文数は3万2千本を超え、組合員に支持される商品を生み出すことができました。

カタログGreenぷらすの企画商品を取り扱うメーカーを視察しました。北海道の厚岸（あっけし）漁業協同組合は、魚介類を大切な資源と捉え、環境を守る活動に積極的に取り組まれていました。視察後の委員会で報告を共有し、各生協でアピールにつなげていきました。

2019年度も委員一人ひとりの感性を活かし、元気に楽しく活動していきます。



厚岸漁業協同組合の視察では、さんまの水揚げや競りにも立ち会い、活気ある漁港の様子を体感できました

組織委員会

各生協の取り組みについて、相談・協議できる場を意識して、各生協の活動を支えます

2018年度は、12生協からの参加（1生協からの報告書提出）で、各生協での取り組みについて相談・協議できる場を意識しました。各生協の取り組みの様子を共有し、それぞれの活動に活かすことができるようにすすめました。


委員会での学習会の様子

せっけんについては、年間を通して取り組んでいます。年度初めに宮城県で活動されている高崎かおりさんを講師に迎え、せっけん学習会を開催しました。せっけんの良さをどう伝えるかではなく、なぜ伝えたいのかを自分の中にしっかりと持つことが大切だと学ぶ学習会となりました。7月と11月のシャボン玉月間では、カタログGREENに4ページの特集を組み、委員会メンバーのせっけんエピソードの紹介とせっけんおすすめコメントを組合員に届けました。

委員会で検討した脱原発コラムを、毎号の共生の時代に掲載しています。委員会で意見交換する中で、気づきや学びがあります。子どもたちの未来のために、脱原発の想いを込めてこれからも丁寧に検討していきます。

共生・平和長崎自転車隊の取り組みでは、「平和のつどい」について、委員会で提案から当日の運営まで具体的に担いました。

2019年度もひとりの人間としての想いと言葉を大切にして、皆で楽しく活動していきたいと思います。

商品おすすめ委員会

食べもの運動をすすめるため、視察交流や学習会を行い、各生協の利用普及につなげました

各生協の取り組みの共有や学習、交流を行い商品をすすめる委員会として活発に活動しました。

※iTQi2017優秀味覚賞二つ星を受賞した「ぬ」産直びん牛乳ノンホモをはじめとした産直びん牛乳の利用普及に、年間を通して取り組みました。学習会では、産直びん牛乳の良さを再確認できるモッツァレラチーズ作りを行いました。実際にチーズを作り、手順や伝え方を共有することで、産直びん牛乳を飲むだけではなく、調理し食べて利用する取り組みとして、各生協で定期予約や利用普及につなげることができました。


産直りんご生産者、津軽みらい農協石川との視察交流の様子

りんごの産地視察では、生産者の「予約が励みになり愛情をこめて作ることができます」の言葉を胸に、たくさんの人に食べてもらえるよう、早期予約の取り組みや利用普及につなげました。

産直野菜学習会では、あまり利用したことがない野菜や豊作野菜を取り上げ、試食を交えてレシピを共有し、美味しさを実感して利用普及に活かすことができました。

組合員が商品の特長や調理法などを伝える「私のお気に入りコメント」を各生協が分担してカタログGREENに掲載しました。組合員の声を活かした取り組みになりました。

※国際味覚審査機構。世界の優れた味覚と品質を持つ食品や飲料品の評価を目的としている

福祉委員会

報告、共有を丁寧に行い、意見交換を通して各生協の取り組みに活かしました

2018年度は、10月から1生協を迎え、12の生協が参加する委員会となりました。グリーンコープの福祉について理解を深めるために、年間を通し、様々な学習会や視察研修を行いました。


9月には、福祉複合施設ふくしセンターおひらきに視察研修に行きました

10月には、生活再生事業推進室長の行岡みち子さんを迎え、グリーンコープの生活再生事業について学びました。「生活再生」という言葉には、地域社会の中で相談者が生きていくために必要な生活基盤を再生する、そのお手伝いをしたいという願いが込められていることを知りました。

11月には、スクールソーシャルワーカーの梶谷優子さんを講師に、第1回福祉拡大学習会を開催しました。食べることも困難な子どもたちの貧困は、本当に深刻な問題だと知りました。子どもたちが安心して過ごすことのできる、子どもの居場所の必要性を感じ、地域や人との関わり合いがとても大切だと実感しました。

第2回福祉拡大学習会では、社会福祉法人グリーンコープ子育て支援事業本部長の林伸子さんを迎え、グリーンコープがめざす子育て、子育ちについてお話いただきました。

2019年度も、各生協の役に立つ委員会として、楽しくしなやかに委員会活動の充実をめざします。

グリーンコープに15番目の新しい仲間

『しがまる生活協同組合』が加わりました

第五号議案　定款変更の件(滋賀県を加える区域変更)

滋賀県で活動されている『しがまる生活協同組合』のグリーンコープ生活協同組合連合会への加入が確認され、定款変更を行いました。

連合会第二十七期通常総会議案採決の結果

代議員数203人	反対	保留	賛成
第一号議案 2018年度活動報告承認の件	0	0	多数
第二号議案 2018年度決算報告承認の件	0	0	多数
第三号議案 2019年度活動方針決定の件	0	0	多数
第四号議案 2019年度事業計画･予算決定の件	0	0	多数
第五号議案 定款変更の件（滋賀県を加える区域変更）	0	0	多数
第六号議案 役員選任の件	0	0	多数
第七号議案 役員報酬決定の件	0	0	多数
第八号議案 役員退職慰労金支給の件	0	0	多数
第九号議案 議案決議効力発生の件	0	0	多数

連合会第二十七期通常総会で選出された役員

全体区理事
- 熊野　千恵美　共同体代表理事 連合会会長 ひろしま理事長
- 西村　大輔　連合会専務理事
- 片岡　宏明　共同体専務理事 連合会常務理事 ひょうご専務理事
- 河嶋　敏秀　連合会常務理事
- 本田　慎一　連合会常務理事
- 行岡　みち子　連合会常務理事
- 鹿毛　優子　共同体組合員事務局長 連合会組合員事務局長
- 東原　晃一郎　共同体常務理事
- 宮﨑　正義　連合会常務理事
- 小笠原　尚隆　共済連合会専務理事
- 伊達　紗由里　連合会商品検討委員長
- 坂本　真由美　連合会商品おすすめ委員長
- 佐々木　美由紀　連合会組織委員長（共同体組織委員長）
- 宮﨑　美幸　連合会福祉委員長（共同体福祉委員長）
- 塚本　良子　グリーンワークス代表

地域区理事
- 山田　由美　おおさか理事長
- 清水　園子　ひょうご理事長
- 飯村　美智子　おかやま理事長
- 小椋　あけみ　とっとり理事長
- 吉田　由佳　(島根)理事長
- 反岡　佐千代　ひろしま副理事長
- 佐々木　春代　やまぐち理事長
- 三原　幸子　ふくおか理事長
- 坂本　寛子　ふくおか副理事長
- 木室　裕子　ふくおか副理事長
- 若松　由香　ふくおか副理事長
- 砥上　叔子　ふくおか副理事長
- 柳川　晶子　さが理事長
- 島田　美砂子　(長崎)理事長
- 髙濱　千夏　くまもと理事長
- 田村　博子　くまもと副理事長
- 竹内　智子　くまもと副理事長
- 八木　佳奈　くまもと副理事長
- 久木田　勝子　くまもと副理事長
- 宇都宮　陽子　おおいた理事長
- 下本地　紀子　かごしま理事長
- 日高　容子　みやざき理事長

全体区監事
- 別所　理恵子　かごしま
- 前田　千賀子　(長崎)
- 下飛田　智子　くまもと
- 今津　健一　やまぐち
- 大田　玲一　ふくおか

退任した役員

退任理事
- 山本　陽子　ひょうご
- 堀　早織　おかやま
- 佐藤　恵美子　(長崎)
- 鈴江　信子　みやざき
- 中村　千暁　くまもと
- 荒木　憲子　グリーンワークス
- 英　小百合　グリーンワークス
- 村上　省三　連合会

退任監事
- 土方　明子　ひょうご
- 岩本　紀子　くまもと
- 滝本　剛司　(島根)

生協名は一部省略しました